わっかない 市議会だより

WAKKANAI CITY

平成14年11月1日
第101号
●発行　稚内市議会
●編集　編集委員会
●電話　23-6161番(代表) 内線281

（写真提供：梅田睦子さん）

議会日誌

8月

1日　印西市議会議員来局
5日　伊丹市・所沢市議会議員来局
6日　**建設産業常任委員会**・佐世保市議会議員来局
7日　**総務常任委員会**・小山市議会議員来局
8日　**民生文教常任委員会**
20日　婦中町・武蔵村山市・明石市議会議員来局
21日　秩父市・水俣市議会議員来局
22日　茂原市・塩山市議会議員来局
23日　喜多方市・岸和田市議会議員来局
26日　栗東市議会議員来局
27日　橋本市・天童市議会議員来局
28日　前橋市・岡山市議会議員来局
29日　**民生文教常任委員会**・尾西市議会議員来局
30日　**防衛庁全国情報施設協議会総会**

9月

4日　板橋区・静岡市議会議員来局
17日　**議会運営委員会**・各会派代表者会議
18日　**民生文教常任委員会**
19日　**建設産業常任委員会**
24日　**第6回定例会（本会議）**・**議会運営委員会**・決算特別委員会・各会派幹事長会議
26日　**民生文教常任委員会**
30日　**本会議（一般質問）**・**議会運営委員会**・**建設産業常任委員会**

10月

1日　**本会議（一般質問）**・**議会運営委員会**・瑞浪市議会議員来局
2日　議案特別委員会・鈴鹿市議会議員来局
3日　議案特別委員会・**議会運営委員会**
4日　**本会議**・決算特別委員会・各会派幹事長会議
7日　決算特別委員会・**議会運営委員会**
8日　決算特別委員会・**議会運営委員会**・議会だより編集委員会
9日　**本会議**
10日　昭島市議会議員来局
17日　川内市議会議員来局
22日　竹田市議会議員来局
24日　栗山町議会議員来局
29日　**議会運営委員会**・議会だより編集委員会

…9月定例会 一般質問から…

各会派から6人の議員の一般質問が行われました。主な質問と答弁を紹介します。

公明党 館農恒一議員

経済の活性化（サハリン関連施策）について

質問 稚内がもつ資源の一つとしてサハリンとの関係があるが、十分に生かし切れていない。その中でもサハリン定期航路でのロシア人の利用が少なく、このままでは航路維持は難しいと思われる。そこで往復運賃を2万円にしてはどうか。

答弁 本市にとって、サハリンに関わる全ての施策において、定期航路の維持、継続は重要な使命であり、現在も北海道の支援により、平成15年度まで3年間にわたり、運賃を助成することで乗船客の増加を促進し、採算性の向上を図る取り組みを行っている。さらに6月定例会において、これまでの方針を転換し、航路維持のために3年間を目途に支援していくことでご理解をいただいた今後は、利用拡大のための施策に努めるとともに、運航事業者に対しても必要な企業努力を求めていきたい。

経済の活性化（商品開発）について

質問 新設した物産営業係は企業との連携を図りながら新製品づくりを支援することを目標に掲げているが、それに応えていないとの指摘がある。これらの取り組みは、経済の活性化はもちろん地域雇用の安定や観光資源づくりに繋がることから商品開発のアドバイザーやコーディネーター機能の強化を図っていく必要があると考えるが。

答弁 物産営業係は、稚内の地域性を生かした魅力ある地場商品の普及を応援するため、積極的なキャンペーン等を展開し、販路拡大を目指して活動している。また、新製品づくりを支援することも大きな役割と考えており、その開発には幅広い専門的な知識をもったコーディネーターやアドバイザーが必要である。しかしながら、現状では、市内で専門的な知識を有するアドバイザー等の確保が困難であるため、北海道工業試験場等の充実したアドバイザー機能を活用し、関係機関等への紹介を行っている。今後も、関係機関との連携を促進し、これらの機関の活用も含め、広くPR活動にも努めていく。また、企業訪問等を行い、積極的な商品開発の支援も行っていく。

日本共産党 三谷典子議員

医療保険制度について

質問 ①老人保健法の改正に伴い、市で住民税非課税世帯を把握しているにもかかわらず、なぜ減額認定を受けるための申請をしなければいけないのか。②国民健康保険法の高額療養費受領委任払いの継続について。③診療報酬改定により自己負担が増加したが、患者負担の軽減を図るため後発医薬品の採用を積極的に進めては。

答弁 ①「減額認定証」の交付については、申請に基づき交付する取り扱いを変更することは出来ないが、対象者には個別に案内等を予定しており、利用者の方が不利益を被らないように事務を進めていく。②「国民健康保険法」の高額療養費受領委任払いについては、これまでどおり実施していく。③後発品の採用状況は、全道市立病院の平均占有率を若干下回った数字である。採用を阻害している要因として、医薬品に対する情報不足がある。特に、重篤な副作用が発生した場合、速やかな情報伝達と対処の必要があり、その点において、後発品メーカーは不十分であると思われる。医薬品の使用については、医師法・薬剤師法にも明記されている

政友会 岡本雄輔議員

ロシア漁船に対する「外規法」の厳格適用について

質問 水産庁が4月から外規法の規制強化を行なった理由及び地域の窮状を国や北海道はどう考えているのか、それに対する市長の考えは。

答弁 水産庁によると、北海道に輸入されているカニ等の多くは偽造された積出証明書により搬入されていたためロシア海域での密漁・密輸防止に協力し、資源保護を図ること、国内漁業が悪影響を受けることを防止する目的で、4月から強化している。国や道からは、地域の厳しい実情は理解するものの、資源保護や国内漁業秩序の安定化のために法の適正運用が必要であり、今後も日ロ協議を継

るとおり、処方薬を変更して調剤することは出来ない。また、後発品の中には直販体制の医薬品や道内の医薬品卸で取り扱えない品目も多数あり、結果として過剰在庫を抱えたり、欠品を起こすことも想定される。今後は、何よりも患者への安定供給と安全性を第一に考え、病院全体、特に医師に対して理解と協力を求めながら後発品についても利用促進を図っていく。

市政クラブ　河野至緒議員

中期財政計画と行政のスリム化について

質問 稚内市の財政状況は様々な要因により大変厳しい環境にある。それだけに今後の財政運営の指針となる「中期財政計画」策定が急がれるが進捗状況は。また、今後も市税や地方交付税が減少傾向にある中、行政もスリム化を進めるべきでは。

答弁 今後の財政運営の基本となる「中期財政計画」については「財政問題プロジェクト」において、提言がまとめられることになっている。その提言を受け、新年度予算編成までに計画策定を予定しており、事業の優先度・緊急度を十分に精査し、選択していくとともに、義務的経費等も検討対象にすべきと考えている。特に、平成18年度以降には、大量の退職者が見込まれており適正かつ効率的な定員管理のもとに、職員の採用を実施していく。また、事務・事業についても、財務会計システムの導入等による事務改善により、行政のスリム化に努めていく。

私学振興について

質問 稚内北星学園大学は、少子化が進む中、今後の経営は厳しくなると考えるが、①市としての財政支援の現況と今後の見通しは。②学生確保策として、資金拠出による特色ある講座を開設してはどうか。③学生確保対策や経営見通し等を定期的に協議してはどうか。

答弁 ①財政支援については、学生への修学資金貸付金に対する利子補給を実施している。また、青少年国際交流基金を活用したサハリン国立総合大学との交換留学事業に対し補助している。今後の財政支援については、大学は独立した学校法人であるため、その自主性・自立性尊重の立場から、見守っていきたい。②大学側としても考えられるあらゆる手段を講じている。従って、学校法人としての積極性に期待すべきであり、市が直接関与することは、必ずしも良好な姿ではないと考えている。③修学資金の貸付者に対する情報の共有化等をはじめとして、事務レベルでの協議はその都度実施している。今後は、大学側との連携を一層密にしながら、同大学の運営や発展を、側面から支援していく。

続して、最善策を見出すとの回答があった。今後とも不正な手段を阻止しようとする国の対策は支持しながら、有効な対策の提案や地域への支援策の実施について強く要請し、地域経済に対する影響が最小限にとどまるような取り組みを進めていく。

稚内港の有効利用とワブコについて

質問 ①ワブコの現在の活動状況は。②稚内港は後方基地として注目されてきたことからワブコの所期目的は達成されたのではないか。今後は石油関連商社の入っているワブコはポートセールスの障害になるのでは。また、稚内港は公共施設であり、ワブコ以外の利用者との間に差別が生まれないか。③稚内港は中継基地としての機能に問題がないのか。

答弁 ①現在、ワブコとしては、掘削リグ保管業務のうち日本企業が受注する可能性があるパイプの保管業務、サハリン島内でのパイプライン敷設時に使用する資機材の保管業務等の調整業務を行っている。②ワブコは現在の事業の状況から考えても重要な存在となっているため、障害になるとは考えていない。また、稚内港は公共施設であり、全ての利用者に平等な利用条件を示している。③石油メジャー等によると、稚内港は高い評価を得ている。機能整備に対する正式な要請は現在はないが、利用する上で最低限必要とされる施設整備の準備に取り掛かっている。今後、岸壁の水深確保や現状施設の狭隘が大きな課題となるため確実な情報の把握に努めていく。

市民クラブ　山田繁春議員

市立第2病院の経営について

質問 市立第2病院の開業準備が進んでいるが、外来患者の投薬方法について院内処方と院外処方のどちらで進めるのか。また、薬剤師の配置は新規雇用なのか市立病院からの異動で配置するのか。

答弁 本年4月の診療報酬改正により薬価差益が人件費程度の収入しか見込めないと考えている。院内処方を行った場合、管理業務が複雑化するとともに人員の増加が余儀なくされるため、院外処方で行っていく予定である。薬剤師採用については、現在、市立病院において、経営健全化に向けた「コンサルティング」が進められている。これを踏まえ、現在の市立病院と市立稚内こまどり病院双方の病院経営に、無駄が生じないような対応を行っていく。

社会福祉協議会と社会福祉事業団について

質問 ①社会福祉協議会のホームヘルプ事業と社会福祉事業団のデイサービス事業の赤字原因と今後の見通しは。②効率的な介護保険事業運営を行うためには、両事業を1ヶ所に統合し組織の再編を行うべきでは。③両団体への市職員派遣に対する見解は。

答弁 ①協議会はヘルパーの稼働率の向上や人員配置の見直しを図る中で、赤字は縮小しており、来年度には収支の均衡が図れると考えており、累積赤字についても解消できると考えている。事業団のデイサービス事業は、介護保険制度に即した体制がとれなかったことや、新たにデイケアの参入もあり利用者のサービス選択が予想以上に厳しかったことから、現在の状況になっている。しかし、利用者は年々増加し、本年度は赤字幅が縮小される見通しであり、より工夫しながら、デイサービス事業の充実を図って行く。②現在、それぞれの事業体において経営改善に努めているところであり、当面は現体制でと考えている。しかし、今後改善が図れず、赤字が恒常化される場合には、事業の統合も考えている。また、組織統合は明らかに性格が異なることから、難しいと考えている。③一日も早く自立する体制を築くことは必要だが、経営の安定化を実現するためには、長期的な視点のもとで、判断しなければならないと考えている。

民主クラブ　長谷川喜市議員

埠頭クレーンについて

質問 末広埠頭のクレーンについて、①稼動状況。②メンテナンス経費。③稼動するための経費。④委託先に技術者がいないが、まるなげにならないか。⑤稼動を上げるための方策。

答弁 ①現在まで実績はないが、サハリン・プロジェクトは今後確実に進展すると見込まれており、早ければ今年度中の稼動の可能性もあると思われる。②14年度費用として、118万7千円。また、法に基づく保守点検である月例点検業務委託として、839万円となっている。③稼動にはオペレーターの費用が必要になるが、法律により荷役免許所有者の対応が義務付けられているので、港湾管理者が負担する費用から除外されている。④稚内市が所有する大型クレーンについては、法律上の手続として設置者と運用者の対応が必要となる。設置者には、稚内市が必要な職員を確保して直接管理を行う方法と、第3者機関が行う方法があるが、現状では大量の物流需要を把握できない状態でもあり、設置者を第3者機関に委託することが適当と判断し、株式会社稚内振興公社に委託している。また、クレーンの運用者については、港湾運送事業法により荷役免許所有者に限定されており、稚内市が携わることは不可能である。⑤企業に対し、稚内港の優位性を確保することが必要である。港湾機能は勿論のこと、利用の際、国際的に通用する迅速、安全、安定、価格などのサービス水準を達成する必要があると考えている。

季節労働者の雇用安定について

質問 「建設業退職金共済制度」の「労働者個人手帳」貼付方法の「具体的方策」の検討の結果、いつからどのような方法で行うのか。

答弁 平成14年度より、元請負人に対し、「建設業退職金共済掛金収納書届」の提出とあわせ、工事毎、月別、元請、下請別の証紙の貼付状況を確認するため、「建退共証紙貼付実績書」の提出も義務付け、制度の遵守について指導しており、今後、建退共証紙の貼付履行について、その確認方法を検討していきたいと考えている。なお、建退共制度未加入の指名登録業者の加入促進についても、更に、指導を強めていく。

…各委員会から…

▲議案特別委員会▼

【補正予算】

〈まちづくり委員会〉

- 地域懇談会のメンバー構成と同じようになっているが支障はないのか
- 条例の制定が委員会で不必要となった場合はどうするのか

〈稚内市総合計画〉

- 市民への広報用にダイジェスト版を作成したが事業進捗状況を明確に出せないのでは意味がない
- 進捗状況が予算執行率で分かるようにすべきでは
- 水産汚泥処理補助の内訳と方法は
- 宗谷岬トイレ改修費の積算時に精査や検証を加えるべきでなかったか
- 奨学資金の貸付が増えたが内容は
- 市民講座の受講状況と委託料の減額の内容は

【条例】

〈健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正〉

- 老人医療費助成の周知方はどのようにしたのか、また窓口の混乱、受診抑制にもなっているのでは
- 自己負担限度額引き下げは通院や在宅看護の負担増になるが病院窓口での対応は

▲決算特別委員会▼

◆一般会計

〈まちづくり委員会〉

- 委員会条例の制定に際しては市が主導すべきでは
- 地域担当員制（市職員）を廃止し、事あれば担当課の職員を派遣すれば用がたりると考えるが

〈温泉「童夢」〉

- 温泉「童夢」前へのバス停留所移設のその後の経過は
- 行政報告で菌の発生は一過性と言っていたがその考え方は
- 委託先や職員の営業や管理に対する意識の向上対策は
- ろ過装置の容量や機能性は、更に入浴者数との係わりは
- 自主防災組織づくりの現状は
- 生活保護システムの機能と担当職員の保護ケース件数との係わりは
- 生ごみ堆肥化への実態は
- いーべやわっかないに対する市の係わりを積極的に
- 昆布資源対策補助は全市的に補助を
- 中小企業相談所の指導員数や業務内容と相談所設置のメリットは
- 観光物産協会の補助と観光協会との関係は、また統一化することは
- 国際ターミナルへの案内標識が破損し、港湾地域の誘導や案内が不十分なので分かり易くしてほしい
- 港湾地区にあるブロンズ像の適正な維持管理を、更に各所にある像の有効活用を図り図書館や学校への配置も検討しては

〈温水プール「水夢館」〉

- 利用者数が増えているのに収入が減った理由は
- 収支改善は厳しく大幅な改善が必要だが、更なる取り組み方は

〈文化事業振興協議会〉

- 会長が文化協会と同一人物なので分けるべきだと考えるが
- 繰越金が多すぎ、補助金交付の在り方としてはおかしいのでは
- 事業規模を前年度繰越金で調整することなく主催事業予算として組んではどうか
- 文化センターの閑散期を学校関係の行事で積極的に利用できるような料金設定等の考えは
- 行政財産の貸付利率を下げたり長期貸付を売払にするなどの見直しは

◆国保特別会計

- 短期資格証明書は滞納していることが分かり易く、更には受診率の低下にも繋がってないか

◆介護保険特別会計

- 事業開始から2年半を経過してサービスの需要や新たな問題などの実態は
- 介護認定で一次判定と通常時とが異なることがある者の二次判定での考慮と家庭、地域、独居等の条件の加味は
- 相談窓口、苦情処理システムなど利用者相談体制は
- ケアプランを認定、作成後サービスを受けていない者への対策を

◆病院事業会計

- 道内市病の中でも医師数や事務職員は多く、逆に一人当たりの診療収入は少ないが現状の分析と改善策は
- 15年には単年度黒字にと答えていたが今年の診療報酬改定を終えての見通しは
- 慢性的看護師不足解消に人材確保専門官などの配置の再考は

…採択された請願及び要望意見書…

◇普通河川の河川整備に関する請願

◆国有林野事業の組織機構改革に関する要望意見書

◆地方税源の充実確保に関する要望意見書

◆奨学金制度の拡充を求める要望意見書

◆介護保険制度の改革を求める要望意見書

◆道路整備に関する要望意見書

本会議と各委員会の出欠状況

区分／議員名	席数・べ（本会議・各委員会）出す日	出席日数	欠席日数	区分／議員名	席数・べ（本会議・各委員会）出す日	出席日数	欠席日数
石塚　公次	14	13	1（私）	中井淳之助	22	22	
岡本　雄輔	22	22		藤谷　良幸	14	14	
小林侃四郎	12	11	1（私）	山田　繁春	12	12	
田森　和文	22	20	2（私）	生田目幸男	12	11	1（私）
前田　修悦	12	11	1（私）	長谷川喜市	14	14	
河合　慎一	13	13		松本　勝利	22	21	1（私）
河野　至緒	14	14		斉藤　信義	14	14	
菅原　清治	12	12		三谷　典子	22	22	
竹村　海一	14	12	2（私）	魚住　光信	22	22	
三宮　正人	20	20		東方　豊松	20	20	
越後谷亮一	20	19	1（公）				
鈴木　茂行	14	14					
館農　恒一	22	21	1（私）				

注：(1)出席すべき日数は、８月１日から10月31日までの状況。
(2)欠席日数欄中(公)は公用、(私)は私用、(病)は病気の意味。

各会派行政視察情報

○市政クラブが先進都市へ視察に赴きました。

・時　期　8月12日～13日
・視察地　留萌市
　　北広島市
・調査事項
・美サイクル館について
・図書館の運営について
・時　期　9月10日～13日
・視察地　岐阜県土岐市
　　福岡県小郡市
　〃　福岡市
・調査事項
・東濃地科学センター訪問
・図書館・文化会館について
・ももち熱源センター訪問

○政友会・民主クラブが合同で先進都市へ視察に赴きました。

・時　期　9月1日～5日
・視察地　新潟県新潟市
　〃　両津市
　〃　新発田市
・調査事項
・新潟市民芸術文化会館について
・観光振興について

12月定例会の日程

12月6日
○本会議（ナイター）
・一般行政報告
・予算・条例・単行議案の上程
7日～10日
○休会
11日～12日
○本会議（ナイター）
・一般質問
13日
○議案特別委員会
14日～15日
○休会
16日
○議案特別委員会
17日
○本会議
本会議は5階議場で、議案特別委員会は5階正庁の間で開きます。

写真募集（2月号・カラー）

議会だよりの表紙に自分の撮った写真を載せてみませんか。
市民のみなさんから写真を募集いたします。
載せたい写真を12月10日までに下記宛に送付又は持参して下さい。
（紙面の構図上、写真はできるだけ横構図のものをお願いします）
なお、写真については、後日お返しいたします。

※送付の場合には必ず返送用の住所・氏名・電話番号を記入の上送付してください。

〒097-8686 稚内市中央３丁目13番15号
稚内市役所　議会事務局

編集後記

九月定例会には十三年度の決算認定の審査もあり、十七日間にわたりました。なかでも、十五ブロックで立ちあがった「まちづくり委員会」のあり方についての課題が浮き彫りになりました。

「まちづくり」は本来、市民一人ひとりが主体的にかかわり、自由に本音で意見を出し合い、自らの責任において創造されていくものだと思います。そのために、今、力を注ぐことは「人づくり」です。市民・議会・行政に与えられた共通の課題ではないのでしょうか。

まもなく本格的な冬将軍到来の季節です。市民の皆様、風邪など引かれないようにお身体に十分気をつけてお過ごしください。

《編集委員会》

議会を傍聴しませんか

★手続きは簡単です★

●お問い合せは●
議会事務局
（電話23－6161・内線281）まで